

持経宿・平治宿の迎春準備と証誠無漏岳南の倒木処理

◇実施日 11月26日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、阪口雄二、大森洋、畑林秀味、

湯川一郎、大江加予子・徳子、上村和美、梶野照雄、

西克、瀧本昭太郎、由井洋三、山口康宏、塩川真武、

今中三恵子 16名

「光陰矢の如し」と言われるが、年を重ねるほど矢のスピードが速く感じられる。今年も迎春準備作業の時期となった。

持経宿・平治宿の準備を済ませ、行仙宿で締めくくることが例年の事なので、今年も持経宿・平治宿から着手するが、池郷林道の通行が気になる。工事による通行規制もあって下見にも行けず、情報も入ってこない。11月26日、路面状況によつては途中から歩く事も視野に、ぶっつけで実行することにした。

事前の準備や皆さんへの呼びかけ、打ち合わせを行った結果16名の大人数が参加して下さった。大変ありがたい。久々の塩川君や今中さんからも参加の連絡を頂いた。

当日の朝、スポーツ公園駐車場に集合。通常は持経宿・平治宿小屋の清掃やお正月飾りの取り付け、千年桧の注連縄交換であるが、今回は登山者からの情報で、証誠無漏岳手前に大きな倒木があり道を塞いでいることが判り、梶野、瀧本、塩川の3名が倒木の処理に向かうことにした。

駐車場に参加のお礼や本日の予定などを説明し、4車で持経宿に向かった。



ハシゴを運ぶ



注連縄交換



料金回収

林道ゲートまでは落石もほぼ無く、一度も車を停めることなくスムーズに着いた。ゲートから先も路面状況は10月1日に通った時とほぼ変わらず、特段荒れていることは無かった。

しかし、落石は一つ二つと落ちてはいるし、石以上に多かったのが折れた枝だった。10回位車を停めて排除し、1時間15分で持経宿に着いた。今日は西さんに軽トラックを提供して頂いたので、ほぼすべての荷物を積載できたので大助かりだった。

持参した荷物を小屋前に集め出発準備、大江さん親子と湯川君の3名が持経宿に残り、小屋、お堂と千年桧を担当していただく。平治宿組の10名がハシゴを持って出発。同時に倒木処理班も歩きだした。持経宿から平治宿までの一時間歩くのが好きだ。殆どの木が葉を落とし、見通しもよく大峯らしい趣があつて癒される。

午前11時過ぎ平治宿に着く。道中の奥駆道に異常は無い。それぞれ作業を分担、阪口、由井は水場へ。上村、今中の2名で小屋内の清掃と雑巾がけ。畑林は窓拭き、児嶋、西で煙突の煤掃除。山口、大森は雨水槽の水抜きを、と大勢なので進行は早い。40分位で作業終了し、注連縄と餅を供え昼食にした。



中又尾根で休む

祠もきれいに

本日の参加者

水場にも問題は無かったし、煙突の煤も殆ど溜まっていなかった。課題、宿題は無いが、来年村吉さんがトイレの排水溝を改修するようだし、屋根のサビも目立ってきたのでペンキ塗りが必要だろう。帰路通過した千年松と祠もきれいに飾り付けられていた。午後一時半前に持経宿に戻った。倒木処理班も少し前に戻っていた。倒木は持経宿からちようど一時間、証誠無漏岳に登りだす所で、根元の直径が35cmほどの梅で、高さ2mの所で折れていた。西側は斜面が急なると枝が多くて迂回できず、東側に踏み跡が残っていた。35分で処理を終えたそうだ。



倒木現場
持経宿の大江さん、湯川君は雨水槽とトイレの掃除中で、皆で手伝った。
切断中
処理完了



お堂の清掃



樋の掃除



雨水槽を掃除

水場の点検に行く者や屋根に登って樋掃除をする者、水槽の水抜きや後片付けなどを分担して行い、午後2時過ぎに予定した作業を完了した。午後2時に湯川、児嶋の2名が先行下山し、戸締りの確認後下山した。皆さんご苦労様でした。

行動タイム

スポーツ公園駐車場 08:30→09:45 持経宿→11:20 平治宿 12:22
↓13:20 持経宿 14:18→15:20 スポーツ公園駐車場



水場の点検



石ヤ塔



帰着

平治宿小屋屋根のペンキ塗り以外にもいくつかの課題が見つかった。

- ◎ 千年桧祠の扉とそれを支える柱が腐食し、丁番が緩んできている。
- ◎ 持経宿の不動堂正面の押入れ風物置の中のカビが尋常でない。何らかの対策が必要
- ◎ 持経宿の雨水槽2つの内右側は全く利用がないので不要と思われる。左側も排水が悪く、取替、廃棄を含めた検討が必要。

(記：沖崎)